

東海大学医学部付属病院にて

2021年6月1日から2026年3月31日までの期間に救命救急センター関連病棟（EICU/BURN）に入院された患者さんおよびそのご家族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院栄養科では、2021年6月1日から2026年3月31日までの期間に救命救急センターの集中治療室（EICU）または熱傷センター（BURN）に入院された患者さんの診療録の情報を使い、栄養管理体制の改善に役立てるための研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。この場合にも個人が特定されることはありません。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、すでに解析や発表準備が進み、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2021年6月1日～2026年3月31日の間に、当院救命救急センターの集中治療室（EICU）または熱傷センター（BURN）に入院し、治療を受けた方。転帰の調査については2026年6月30日まで実施します。

研究課題名：救命救急センター関連病棟（EICU/BURN）入室後の早期栄養介入回診導入が48時間以内の経腸栄養開始率に与える影響：後方視的前後比較研究

倫理審査番号：26R036

研究期間：【許可日】～2031年3月31日

26-724

【本研究の目的・意義】

この研究の目的は、救命救急センター関連病棟（EICU/BURN）に入室した患者さんに対して行う早期栄養回診の導入により、48時間以内に経腸栄養を開始できる割合が高まるかどうかを明らかにすることです。

重症の患者さんでは、早い時期に腸から栄養を始めることが望ましいとされていますが、実際の医療現場では患者さんの状態に応じた慎重な判断が必要であり、開始が遅れることもあります。

本研究により、早期栄養介入回診が適切な栄養開始につながるかを明らかにすることで、今後の救命救急医療における栄養管理の質向上に役立つことが期待されます。研究成果は、学会発表や論文等を通じて公表する予定です。

[使用する試料・情報の例]

試料：本研究では試料は用いません。

この研究では、新たに検査や採血をお願いすることはありません。診療の中で、すでに記録されている以下の情報を使用します。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、BMI
- ・ 入院日、救命救急センター関連病棟（EICU/BURN）入室日、診療科、診断名
- ・ 重症度に関する情報（集中治療室に入室した患者の重症度と死亡リスクを客観的に数値化するための国際的な医学スコアリングシステム（APACHE II）、多臓器不全の程度を点数化して重症度を判定するための医学指標（SOFA）、人工呼吸器使用、昇圧薬使用）
- ・ 栄養回診の実施状況
- ・ 経腸栄養開始の有無、開始日時、救命救急センター関連病棟（EICU/BURN）48時間以内に開始できたかどうか
- ・ 48時間以内に経腸栄養開始ができなかった場合はその理由
- ・ 栄養投与量、投与中断の有無
- ・ 日常生活動作を評価する医学的な指標（Barthel Index）、高齢者の虚弱の程度を評価する指標（CLINICAL FRAILTY SCALE）、基本的な身体の動かしやすさを測るためおスコア Functional status core for the ICU（FSS-ICU）
- ・ 四肢筋力：Medical Research Council sum score（MRC-SS）
- ・ 集中治療室活動度スケール（IMS）
- ・ リハビリテーションの介入の有無、言語聴覚療法士の介入の有無
- ・ 経口摂取状況評価尺度 Functional Oral Intake Scale（FOIS）
- ・ 消化器症状の有無
- ・ 抗菌薬使用状況
- ・ 救命救急センター関連病棟（EICU/BURN）在室日数、在院日数、院内死亡の有無
- ・ 転帰

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた情報は、氏名、患者番号などの個人を直接特定できる情報を削除し、個人が特定できないよう研究用の番号をつけるなど加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

[情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

[研究資金・利益相反について]

りえきそうはん

この研究は、東海大学医学部付属病院における研究費を用いて実施します。現時点で、この研究に関して開示すべき重大な利益相反はありません。

[研究組織]

研究機関名：東海大学医学部付属病院

研究責任者所属・氏名：診療技術部栄養科 鈴木 太

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

[お問い合わせ先]

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121（代表） 内線：6650 PHS：8512

研究責任者・担当者：診療技術部栄養科 鈴木 太

[更新履歴]

2026年6月1日 第1版

2026年6月26日 第1.1版